

広域連合だより

構成市町村

日向市

門川町

美郷町

諸塚村

椎葉村

【第50号】

令和7年11月発行
日向東杵杣広域連合
〒883-0034
日向市大字富高2192
TEL(0982)53-3401
FAX(0982)52-7889
<http://hyuga-kouiki.jp/>

議会だより

令和7年第2回定例会

令和7年7月11日（金）、令和7年第2回定例会が開かれました。今回は議会構成の変更があり、一般質問の通告はありませんでした。

議会構成の変更では、議長・副議長の選挙、各常任委員および議会運営委員の選任が行われ、議長に日高和広議員（日向市）、副議長に森誠一議員（門川町）が選出されました。新しい広域連合議会議員は下記のとおりです。

全員協議会

定例会後、全員協議会を開き、「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」と「次期広域最終処分場基本計画」の2点について議員に報告しました。この2つの計画は、令和7年6月25日（水）に開かれた正副連合長会議で承認・策定されたものです。

計画の詳細は、3ページに掲載しています。

広域連合議会議員名簿

令和7年7月11日現在

議長 日高和広（日向市）
副議長 森誠一（門川町）
議員 黒木健二（日向市）
議員 柏田公和（日向市）
議員 河野ひとみ（日向市）
議員 黒木雅由（日向市）
議員 高橋由美（日向市）
議員 黒木克彦（日向市）
議員 那須富重（美郷町）
議員 山本文男（美郷町）
議員 田原尚美（諸塚村）
議員 甲斐弘昭（諸塚村）
議員 岡村正司（椎葉村）
議員 尾前秀久（椎葉村）
議員 松本良一（門川町）
議員 寺田泰隆（門川町）

※議員定数16名

定例会の様子



会議録については、
広域連合
ホームページに
掲載しています。



令和6年度のごみ焼却量をお知らせします

～令和6年度に清掃センターで燃やしたごみは21,209 tでした～

令和6年度のごみの焼却量は、令和5年度と比べて630 t (2.9%)減りました。

5市町村すべてで焼却量が減り、昨年に引き続き大幅な減少です。今後ごみの減量化が進むと予想されますが、より一層ごみの分別やりサイクルに取り組み、ごみの排出量そのものを減らすなど、引き続き日常生活での協力をお願いします。

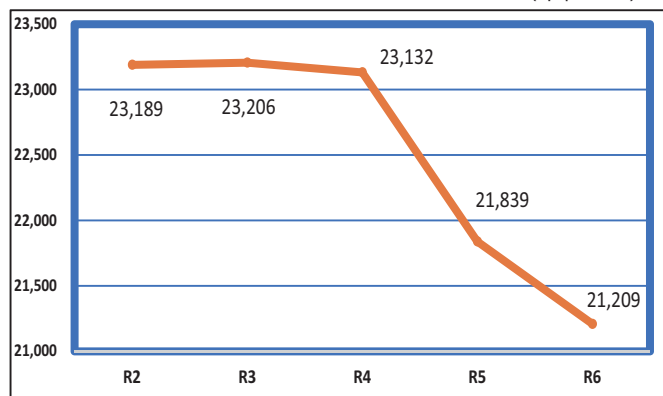
清掃センターごみ焼却量の推移

(単位：t)

市町村別ごみ焼却量の推移

(単位：t、増減率は%)

| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 増減 | 増減率 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 日向市 | 16,592 | 16,689 | 16,709 | 15,692 | 15,190 | △ 502 | △ 3.2 |
| 門川町 | 5,139 | 5,074 | 4,882 | 4,749 | 4,674 | △ 75 | △ 1.6 |
| 美郷町 | 881 | 877 | 972 | 845 | 814 | △ 31 | △ 3.7 |
| 諸塚村 | 194 | 191 | 203 | 184 | 176 | △ 8 | △ 4.3 |
| 椎葉村 | 383 | 375 | 366 | 369 | 355 | △ 14 | △ 3.8 |
| 合計 | 23,189 | 23,206 | 23,132 | 21,839 | 21,209 | △ 630 | △ 2.9 |



次期広域最終処分場の検討状況について

次期広域最終処分場建設に関する各種計画を検討するうえで、広く専門家や住民の意見を聴くために、令和7年3月11日（火）および令和7年7月25日（金）に美郷町西郷ニューホープセンターで「次期広域最終処分場建設検討委員会」を開催しました。

第7回建設検討委員会

3月11日
開催

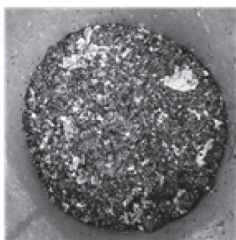
【内容】

令和6年度に実施した地質調査の調査結果、浸出水処理計画、次期広域最終処分場基本計画（案）について、検討しました。

委員会の様子



主灰



（広域連合清掃センターから排出された焼却灰）

◆地質調査の調査結果

①地下水が2層あるため、水位・水質把握のために、年間を通して継続観測を実施します。

②地層によって土壌や岩盤の硬さが異なるため、その結果を基に構造物基礎の掘削標高を判断します。

③施設配置計画の一部に、過去の地滑り箇所がかかっていたため、配置を見直すことにより回避します。

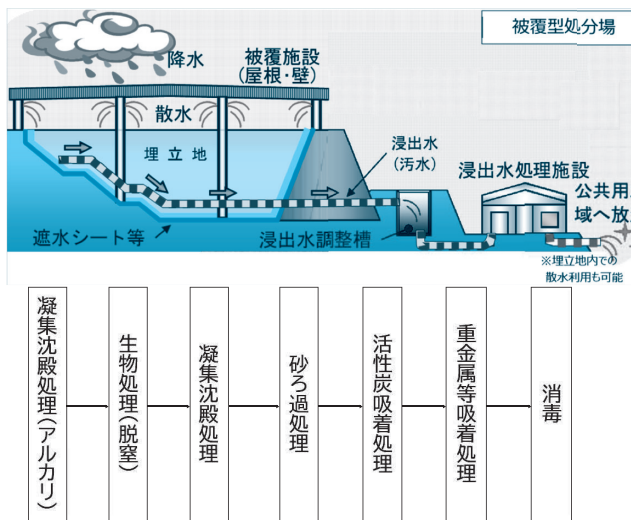
◆浸出水処理計画

①埋立物に散水した後に発生する浸出水の水質の値を設定しました。

②処理施設内で処理された水の水質基準を法令等に基づいて設定しました。

③環境に配慮した十分な処理を実施するため、処理工程については、生物処理や砂ろ過処理などの工程に加え、活性炭吸着処理や重金属等吸着処理の高度な処理を行う方針としました。

◆次期広域最終処分場基本計画（案）事業を進めていくにあたって、埋立対象廃棄物の設定や被覆型施設での建設方針、搬入道路や施設設備の配置、その他必要なことや整備スケジュールなどを示した基本計画（案）について検討しました。



被覆型最終処分場の概要図
浸出水処理施設の浸出水処理フロー（案）

◆委員からの主な質問

【Ｑ１】放流水の塩分濃度は脱塩処理を必要とする濃度ではないのか。

【Ａ１】放流水の塩分濃度は海水と同じくらいですが、水量の少ない冬季を前提として、大内原ダムより上流の耳川の流域面積と次期処分場より放流する水量を計算した場合に希釈濃度は0.003%（※）となり、塩分濃度は限りなく薄くなると考え

ています。（※家庭浴槽に対して小さじ1杯程度の塩分が溶け込んでいる濃度）

【Ｑ２】本日検討した『基本計画（案）』については、正副連合長等で協議・承認の必要はないのか。

【Ａ２】検討委員会の後に正副連合長会議で報告・確認を行います。

第8回建設検討委員会

7月25日
開催

【内容】

今年1月から実施中の生活環境影響調査の中間報告について検討しました。

生活環境影響調査って何？



【調査の目的】

最終処分場完成後の環境保全措置を検討するため、周辺環境への影響を調査により予測・評価する

【調査項目】

大気質・騒音・振動・悪臭・水質・地下水

【調査期間】

令和7年1月から令和8年1月

◆中間報告

① 冬季調査結果では、粉じんが舞う可能性のある秒速5.5メートル以上の風は観測されませんでした。

② 水質については、春季調査で動物のふんが原因と考えられる大腸菌の数が基準の値を超えていたため、今後の調査により様子を見ます。

◆委員からの主な質問

【Q1】水質や地下水の調査時期の決定方法は。

【A1】調査する時期は、季節ごとに雨の影響が少ない月を選んでいきます。

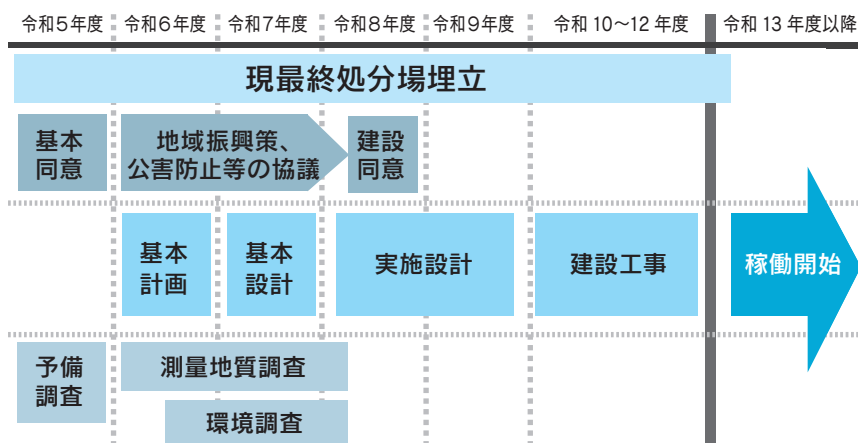
【Q2】施設が完成した後も現在のように、年間を通じて様々な項目のデータを取っていくのか。

【A2】完成後は維持管理の基準が別に決められていて、その基準に従って調査します。ただし、生活環境影響調査は工事中は含みません。

【意見】においや粉じんなど、住民が気になる環境の変化に対して情報提供してもらい、連合が解決の方法などを示し、対応する姿勢が、住民の安心感につながるのではないかと考えているため、お願いしたい。



会議録や会議資料については、広域連合ホームページで公表しています。



今後のスケジュール

2つの計画を策定しました ～概要をお知らせします～

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（令和7年6月策定）

目的：地域のごみを効率よく減らし、安全・安心に処理するための長期計画

対象：広域連合を構成する5市町村から発生する「ごみ」

期間：令和7年度から令和21年度まで（15年間）

主な内容：4R運動を推進し、ごみの減量と資源化を進める

ごみ処理施設の適切な管理・維持

住民・事業者・行政が協働して循環型社会を目指す

ごみ処理施設の整備による持続可能なごみ処理体制の構築



ごみの分別にご協力をお願いします

次期広域最終処分場基本計画（令和7年6月策定）

目的：現行の最終処分場が満杯になるため、新しく安全で環境に配慮した最終処分場を整備する計画

対象：日向東臼杵広域連合清掃センターのごみ焼却灰や不燃ごみの埋め立て

施設形式：屋根付きの「被覆型最終処分場」を採用し、粉じんやにおいが周りに広がらないようにする

特徴：浸出水の処理や漏水を見つける仕組みを強化

周りの環境にできるだけ影響を与えない設計

地域の人たちとの話し合いを大切にし、地域に受け入れられる施設を目指す

スケジュール：令和13年度（2031年度）に供用を始め、埋め立ては15年間行う

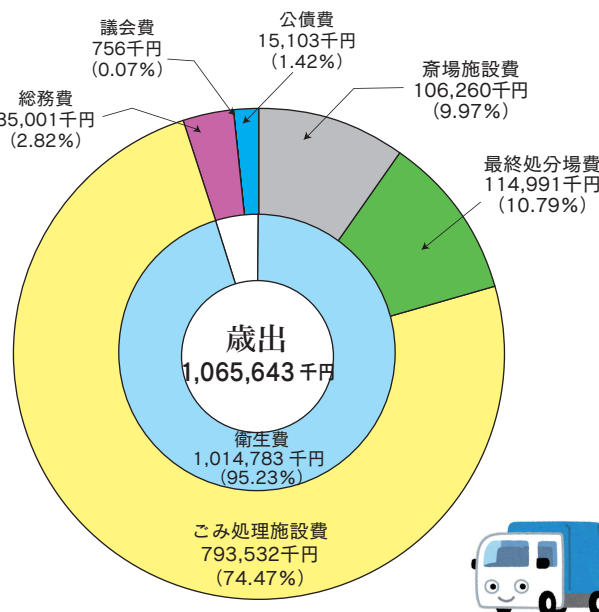
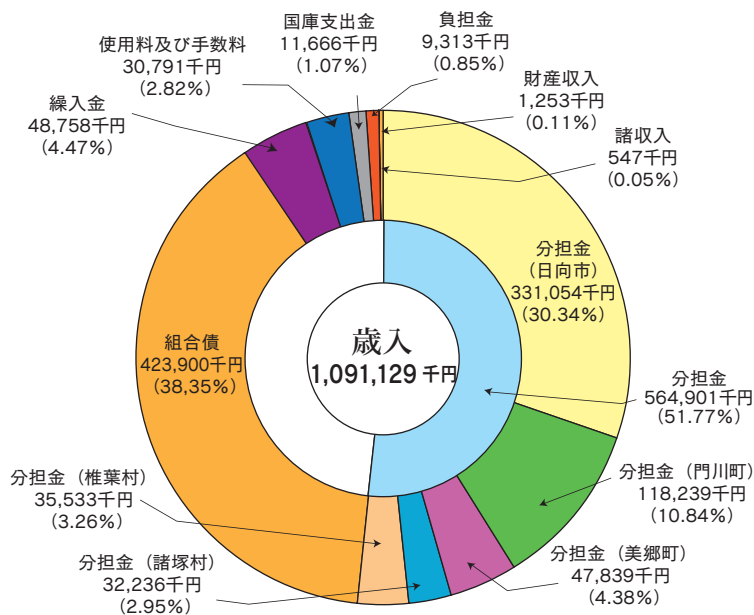
費用：約42.5億円で、国の交付金や起債を使い、一般財源の負担を軽くする



令和6年度 決算



歳入総額は10億9,112万9千円、歳出総額は10億6,564万3千円で、差引額は2,548万6千円の黒字決算でした。差引額は全て基金に積み立てました。



総務一般事務（総務費）

構成市町村や関係する機関と情報共有を進め、事務の早さとスムーズさを高めました。また、地域住民の理解と協力を強め、統一基準の財務書類を公開して、財政の透明性と説明責任を高めました。

火葬場事務（斎場施設費）

火葬炉の設備を計画的に直すとともに、運転管理や保守点検などを行いました。
毎月の会議で情報を共有し、火葬が安全で安定して行われるようにしました。

主な成果

最終処分場事務（最終処分場費）

地質調査で建設候補地の地盤の適性を確認し、関係者の意見を取り入れた次期広域最終処分場基本計画を作成しました。また、住民説明会や検討委員会、先進地の視察を行い、ホームページや広報紙で情報を公開して理解を求めました。これらの取り組みで建設に向けた土台を作り、透明性を高めました。

ごみ処理施設事務（ごみ処理施設費）

計画的に直したり点検したりして運転の管理を行い、焼却施設が安定して動くようにしました。
ダイオキシン類などの排ガスの測定結果はすべて基準値内で、周りの環境を守りました。
また、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を作り、将来の目標を整理しました。



年末の清掃センターへのごみの持ち込みは

12月30日（火）まで！

年末は、ごみの直接持ち込みが多く、施設内や付近の道路が大変混雑します。大掃除は余裕をもって済ませ、早めの持ち込みをお願いします。



【編集後記】

日向市から広域連合に出向となり、管内町村の首長、議員、担当職員の方々と話をする機会が増えるとともに、町村の広報紙や公式ラインを目にするようになりました。今まで知らなかったスポットやイベント、おいしいお店などを知り、出かける楽しみが増えました。（S K）